

実践型インターンシップ推進事業 受入企業募集要項

1 目的

宍粟市人財カフル活用プラットフォーム推進会議(宍粟市人財力会議)では、意欲のある若者を地域に呼び込み、その力を経営革新や人材育成など地元企業の育成と発展により地域経済の活性化や雇用の確保につなげていくため「実践型インターンシップ推進事業」に取り組めます。

2 実施主体

宍粟市人財カフル活用プラットフォーム推進会議(宍粟市人財力会議)
【構成団体：宍粟市、宍粟市商工会、西兵庫信用金庫】

3 応募資格

宍粟市内に事業所又は事務所を有する事業者であって、市税を滞納していないもの

4 事業概要

1) 実践型インターンシップ推進事業とは？

地域の企業や経営者の皆様が本当はやってみたい、試してみたいけど、どうしても手が付けられていない、会社の将来に新たな方向性を見出す本気のプロジェクトを本気の若者（主に首都圏の大学生が多いですが、地域を限定することも可能）と一緒に約1カ月間試してみる取組みです。

プロジェクトの事例：職場環境の改善・従業員満足度の向上などの提案、企業の魅力をSNSで発信、販売戦略・商品開発 など

2) 学生の募集方法

NPO法人ETICが主催する「地域ベンチャー留学」というプログラムに参加します。（学生が参加するマッチングフェアを6月11日にオンラインで開催予定。フェアには受入事業者も参加していただきます）。このプログラムではイベントや面談を通じて、高い確率で学生と企業のマッチングが可能となります。

3) 学生の受入時期

今年8～9月（夏休み）の約1カ月間を予定しています。

なお、新型コロナウイルス感染症の関係などで、全期間又は一部をオンラインで実施することも可能です。

4) 受入プログラム作り

受入事業者の経営課題や経営戦略に応じて、インターンの受入目的・業務内容（プロジェクト）・対象学生（こんな学生に参加して欲しい等）・受入各種条件等のプロジェクトを設計します。その内容をまとめ、ETICが運営するインターンシップ募集サイト「プロジェクトインデックス」に掲載します。（参考URL）<https://www.project-index.jp/>

プロジェクトの設計、実施に際してはコーディネーター（人財力会議）がサポートを行います。

5) 学生との契約

学生は、プロジェクトの実施にあたり受入事業者と研修に関する契約を結んだ上で取り組みます。

6) 受入体制

受入事業者には、学生を受入期間中にサポートする「受入担当者(スーパーバイザー)」を選任していただきます。

